

母校応援報告

全国高等学校駅伝競走大会

男子第70回大会の応援報告

令和元年12月22日に、全国高等学校駅伝競走大会の男子第70回大会が京都市の西京極陸上競技場を発着するコースで開催されました。母校、秋田工業高校の陸上部が7年連続25回目の全国大会出場を果たし、師走の都大路を走り抜けました。東京秋工会からは9名が応援に駆け付けました。大会の前日に各自が京都駅へ集合し、参加者で宇治と伏見方面を観光しました。



宇治平等院

【激励会】

大会前日の夕方、選手達の宿泊ホテルで行われた激励会へ出席しました。黒沢校長先生や秋工関西支部の諸兄、他に関西在住の秋田県人会の皆様が集まりました。監督の高橋先生からは選手の仕上がり状態が良く、平成26年大会時の4位以上の成績が期待できると説明がありました。メンバー各自の自己紹介では力強い決意表明があり、頼もしい限りです。最後に全員で『フレー、フレー、秋工』と氣勢をあげ、大会での健闘を誓い合いました。

選手激励会後に祇園で校長先生と東京秋工会の応援参加者として、母校の健闘を祈念し、乾杯をしました。。



激励会にて

【応援当日】

西京極競技場には、全国の代表校の幟や横断幕がぎっしり。近隣の高校はプラスバンドやチアリーダーが雰囲気をもりあげています。秋工も嵯峨さん(S43E)のフルーツ1本で他校のプラスバンドと応援合戦です。校歌、副歌、秋工健児の他にも在校生も歌わないであろう応援歌の虫干をしました。関西支部と東海支部から同窓生が集まって来ました。秋田県人会の皆様も集まり、秋工の応援席も大勢になりました。男子の発走前に私達はロードでの応援の為に競技場を離れます。後援会が用意してくれたタクシーに分乗し、1区、3区、4区と応援しました。秋工の1区が先頭集団で円町の交差点に上がってきます。郷土と母校の榮譽を担い、必死に頑張っている選手に『秋工ガンバレ』と何度も叫んでいました。秋工の3区は7位グループで前を追いかけます。入賞に期待が持てる順位です。4区までの選手を声援後に競技場へ戻り、選手の帰りを待ちます。秋工のアンカーは1年生です。駅伝ゲートから力強く競技場へ戻って来ました。



秋工応援団

秋工の記録：13位 2時間03分43秒 (秋田県記録更新)

秋田工業高校選手名

- 1区、中川雄太 (2)
- 2区、小松兼悟 (2)
- 3区、高橋銀河 (3)
- 4区、高貝 瞬 (3)
- 5区、浮田大助 (3)
- 6区、柴田宜憲 (3)
- 7区、佐藤宏亮 (1)
- *、坂本祥太 (3)
- *、加賀谷耀 (2)
- *、杉本真弥 (1)



1区、先頭集団(秋工No.5)



3区、秋工7位グループ



秋工選手の力走

後輩達は立派に都大路の歴史に母校秋田工業高校の名を刻んで来ました。選手、指導者、後援者の皆様へ感謝です。



関西支部と懇親会

東京秋工会応援参加者9名

- 生駒 茂(S33C)、辻村豊昭(S34E)、加藤幸夫(S36M)、
小野鐵雄(S38C)、三平俊悦(S39A)、佐々木進(S40S)、
遠藤久志(S43E)、嵯峨良平(S43E)、佐藤 勲(S40M)

◆ 記事

佐藤 勲 (昭和40年機械科卒／応援団OB)